

摂津市議会

駅前等再開発特別委員会記録

平成15年12月22日

議会事務局

目 次

駅前等再開発特別委員会

12月22日

会議日時、場所、出席委員、説明のため出席した者、出席した議会事務局 職員、案件	1
開会の宣告	2
助役あいさつ	
委員会記録署名委員の指名	2
吹田操車場跡地利用問題について	2
説明（都市整備部長）	
質問（川口委員）	
閉会の宣告	4

駅前等再開発特別委員会記録

1. 会議日時

平成15年12月22日(月)午前10時 開会
午前11時40分 閉会

1. 場所

第一委員会室

1. 出席委員

委員長 柴田繁勝	副委員長 藤浦雅彦	委員 川端福江
委員 渡辺慎吾	委員 山本善信	委員 川口純子
委員 森西正	委員 石橋徳治	

1. 欠席委員

なし

1. 説明のため出席した者

助役 小野吉孝

生活環境部長 前田宜伸	同部参事兼環境対策課長 前川 弘
都市整備部長 北野正明	同部次長兼都市計画課長 山脇 智
まちづくり支援課長 小山和重	同課参事 岡田秀樹

1. 出席した議会事務局職員

事務局長 岸本文夫 同局次長代理 野杵雄三

1. 案件

吹田操車場跡地利用問題について

(午前10時 開会)

柴田委員長 ただいまから駅前等再開
発特別委員会を開会いたします。

まず、理事者からあいさつを受けたい
と思います。

小野助役。

小野助役 おはようございます。

あと10日ほどになりまして、また第
4回定例会が閉会いたしまして早々、駅
前等再開発特別委員会を開催賜りまして、
お礼申し上げたいと存じます。

本日、本委員会にご説明申し上げます
内容につきましては、梅田貨物駅の移転
計画に関連いたしまして、去る13日に
大阪市より地元に対しまして説明されま
した梅田貨物駅の大阪市内への移転計画
につきまして、本市より経過報告をさせ
ていただきたいと存じております。

また後ほど、事業者の鉄道建設・運輸
施設整備支援機構よりご説明申し上げま
すので、あわせましてよろしく願い申
し上げます。

柴田委員長 あいさつが終わりました。

本日の委員会記録署名委員は、渡辺委
員を指名いたします。

本日の案件は、吹田操車場跡地利用問
題についてでございます。

それでは、説明をお願いしたいと思います。
北野部長。

北野都市整備部長 駅前等再開発特別
委員会を開催いただきまして、厚くお礼
申し上げます。

本日、本委員会にご説明申し上げます
内容でございますが、梅田貨物駅の大阪
市内への移転計画についてでございます。
梅田貨物駅の吹田操車場跡地への移転計
画につきましては、平成11年1月に梅
田貨物駅の吹田操車場跡地への移転計画
に関する基本協定書を大阪府、摂津市、
吹田市、日本鉄道建設公団、日本貨物鉄

道株式会社の5者において締結いたした
もので、本年10月1日に日本鉄道建設
公団の権利及び義務は独立行政法人鉄道
建設・運輸施設整備支援機構に承継され、
現在、その支援機構により基本協定に即
し、大阪市内に、残る約半分の貨物の移
転計画の協議や環境影響評価などの行政
手続が進められているところでございま
す。

梅田貨物駅の大阪市内への移転計画に
つきましては、昨年3月の大阪市会にお
きまして安治川口、百済駅に候補地を絞
り、日本鉄道建設公団と協議する中であ
るとの答弁がなされた後、移転候補先の
施設計画や交通処理計画などの協議が進
められ、去る13日に百済駅の移転計画
について地元町会役員への説明会を実施
され、新聞にも取り上げられたところで
ございます。

この説明会につきましては、大阪市が
地元の要請を受けて地元に対し説明を行
うかもしれないということは事前に支援
機構より連絡を受けていたところでござ
いいますが、唐突に13日、読売新聞夕刊
に報道され、直ちに支援機構に対し確認
し、報告を受けるに至ったところでござ
います。その説明会に至る経過等につ
きましては、後ほど事業者の支援機構よ
りご説明申し上げますが、大阪市内の移
転先につきましては本特別委員会にお
いて、これまでも基本協定に即し、支援
機構が大阪市と鋭意、協議を進めている
ところのご報告をさせていただいており、
本市といたしましては支援機構として移
転計画の方針を示し、大阪市が地元の意
見を聞く段階に達したと理解いたしてお
りますが、今後も支援機構に対し、適切
な情報提供を求め、この梅田貨物駅の
大阪市内への移転を含む基本協定書の
内容が支援機構及びJR貨物より誠意を
もって

遵守されることを見極めながら、大阪府、吹田市と協調し、最終合意への判断をしてまいりたいと考えております。

以上が梅田貨物駅の大阪市への移転計画についての主な経過でございますが、引き続き事業者の鉄道建設・運輸施設整備支援機構よりご説明を申し上げますので、よろしく願い申し上げます。

以上でございます。

柴田委員長 説明が終わりました。ただいまの内容に関する質問は、次に予定いたしております説明会の後に受けたいと思いますので、ここで暫時休憩をしたいと思います。

(午前10時 6分 休憩)

(午前11時33分 再開)

柴田委員長 再開いたします。

この際、理事者に対する質問があれば受けたいと思います。川口委員。

川口委員 今、機構の方から説明がありましたね。市側もお聞きされたと思うんですけども、今後、やはりこういう状態ですので、市との連携というのを本当にきちんとされるのかなと大変不安になってきました。

この委員会に対する説明でさえ、私はきょうは全然納得がいておりませんし、わかりません。新聞報道で15、16日、本会議の中で理事者側も大変当惑されたと思うんですけども、百済の移転の問題については、まだまだかなり難しい問題がありますし、この辺、どういうふうに対機構に対して情報公開や、また、この委員会に対する説明責任を果たしていこうとされているのか、この点だけお聞きしておきたいと思います。

柴田委員長 北野部長。

北野都市整備部長 今、ご指摘の、今後、市と機構との連携についてでございますが、今回の13日の新聞報道につき

ましては、我々も非常に、唐突な話で困惑しているような次第でございます、これらの内容につきましても、特に大阪市が対応されているというふうな状況でもございまして、大阪市におかれましてもやはり両市に言えない、まだ表明できない部分があるということも多々お聞きいたしております。

しかしながら、新聞報道では唐突に報道されたということに対しまして、我々も以前、鉄建公団と協議調整をさせていただく中では一定の、やられるというお話は伺っておりましたが、現実に13日に実施されるという話は全く知らなかったもので、これに対しても支援機構に即座に14日の日にも強く、やはり連携を図るようというのを申し入れておるところでございます。今後におきましても、やはりこういうことのないように十分注意を払いながら、両市、お互い連携を図る中で支援機構と、さらにそういった情報の収集に努める中で、住民にいち早くご報告申し上げるような内容をもって、今後、考えてまいりたいというふうに考えております。

柴田委員長 川口委員。

川口委員 先ほど機構の方は、13日に地元説明会があるのは市にも連絡をしたと、事前にね。おっしゃったんですよ。今のご説明では全く聞いてなかったと、そういうふうにおっしゃったと思います。こういう状態で、本当に詳らかに、いろいろ事業を進めていく上では表にできない部分も、そらあるでしょう、交渉が必要ですからね。ですけど、やっぱり住民の圧倒的な意見は意見書や、さまざまところで出ておりますよね。そういうところで、今後も摂津市の担当課が窓口になっていかなければならないんですよ。そこでいくと今の答弁の食いちが

いもありますし、どう本当に、私たちはどこを信頼してやっていけばいいんですかね。全く、言うたら先ほどの答弁、向こうの答弁聞いてても、やっぱり不誠実なんですよね。きょうでも失礼なやり方やと私は思っております。これも持ってきてくださいということだったんで、やっぱり当然、委員会を開く以上、きちんと説明ももう少しあってしかるべきやと、そういうふうに思ってるんですよね。市側もそういうふうに思ってはるんじゃないんですか。

中身については、これからもっともっといろいろな地元説明会とか、いろいろ出てくると思いますし、また、これからも委員会の中で言っていきたいと思うんですけど、先ほど機構が事前には言っていたと言うたんですよ、市側に。でも、今、北野部長は聞いてなかったとおっしゃってるんですよ。こんなこと1つさえもこういうことで、どなたか聞いてたんですか、助役でも聞いてたんですか、確認したいと思います。

柴田委員長 先ほど、冒頭の部長あいさつの中で少しそういう、近々にそういう説明をしたいというふうなニュアンスのことは伝わっておったということが説明にあったように思いますが、その辺も含めて、今、川口委員がお尋ねになることについてお答えください。

北野部長。

北野都市整備部長 冒頭に私からご説明申し上げましたと思いますが、一定、機構からは13日に、説明会があるかもしれないというふうな内容は聞いております。機構におかれまして、先ほどご説明がありましたように、近々に説明がなされますということはお聞きしております。そういった内容が、ほぼ同様のものであると我々は理解しております。日時、

13日にされるということが明確に、我々に聞かされていなかったということに対して、13日にあるかもしれないという表現をさせていただいたものであって、やはり機構が先ほど言われましたように、近々に説明がなされるという意味につきましても、やはり同様の意味ではなかるかと私は考えております。

こういうふうな、今後、問題がないように、やはり十分、これから調整を図りながら、我々といたしましても強くそれを支援機構に申し入れるというふうな状況でもって、進めてまいりたいというふうな考えておりますので、ご理解お願い申し上げたいというふうに思います。

柴田委員長 ほか、どなたかございませんか。理事者に対する質問、よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

柴田委員長 それじゃあ、ないようでしたら、これをもって本委員会を閉会したいと思います。

(午前11時40分 閉会)

委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

駅前等再開発特別委員会

委員長 柴田 繁 勝

駅前等再開発特別委員会

委員 渡辺 慎 吾